

The 100 Best Books

For
Reitaku
University
Students

麗澤大学生に
読んで欲しい



100

冊

メッセージ

麗澤大学は、学生諸君を「品格あるグローバル・リーダー」に育てあげます。
そのためには、読書は不可欠です。
学生時代に読んでおいて欲しい100冊を選びました。
読書は、知識を深め、思考力を向上してくれます。
さらにあなたの人生を豊かにしてくれます。

学長 徳永澄憲



豊かなコミュニケーションを育むヒントとなるような本を選びました。
私は、もう20年以上も前から困ったことがあるといつも『7つの習慣』（の原著）を読み返します。
人生を支える1冊とみなさんが出会えますように！

副学長・外国語学部長 渡邊 信

本には読むタイミングがあります。
昔まったく面白くなかった本が、あるとき面白く感じるようになることがあります。
ここにあげた100冊もきっと面白く読めるようになる 때가来ます。
折に触れて読書をしてください。

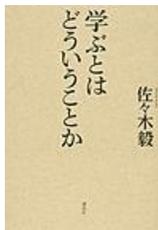
経済学部長 上村昌司



パピルスの夢を君は見たらろうか。
文字を生み出した文明が、いずれ文字を映し出す「紙」を失わせるかもしれない。
ならば、刹那の時間を本と共に送ろう。
君の見ない世界が繰り広げられている。
夢は、まだ続いている。

図書館長 下田健人

学ぶとはどういうことか 01



著者：佐々木毅

「学ぶ」とは「学び続ける」ことである。現代の碩学が、様々なテーマで、「学ぶ」ということを考察する。

池上彰の教養のススメ 02



著者：池上彰

教養は、生き抜くための「最強の武器」になる。「教養」とは何か、学ぶとどんないいことがあるのか。

考える力がつく本 03



著者：池上彰

本、新聞、ニュース番組、雑誌、ネット。媒体をうまく使い分け、考える力を身につける実践的な方法を紹介。

大人になるためのリベラルアーツ:思考演習12題 04



著者：石井洋二郎、藤垣裕子

「絶対に人を殺してはいけないか」など、簡単に答えの出ない問題と格闘し、思考力を鍛える書。

学問のしくみ事典: あらゆる「学」の歴史とつながりがわかる 05



著者：日本実業出版社 編

人文科学から社会科学、自然科学、文化芸術までさまざまな学問の歴史とつながりがわかる一冊。

AI vs. 教科書が読めない子どもたち: Artificial intelligence vs. Children who can't read textbooks 06



著者：新井紀子

気鋭の数学者が日本人の読解力の低下を指摘。AI化が進んだ未来の最悪のシナリオと教育への提言を導き出す。

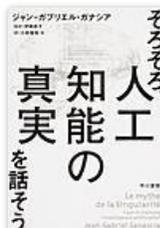
人工知能と社会: 2025年の未来予想 07



著者：栗原聡

第一線の研究者らが2025年に人工知能が到達している地点を予想、これからの社会に生かすための技術を解説。

そろそろ、人工知能の真実を話そう 08



著者：ジャン=ガブリエル・ガナシア

「AIの能力が人間を凌ぎ、機械的支配が進んで世界が大きく変容する」というのはインチキだ!

これからの世界をつくる仲間たちへ 09



著者：落合陽一

コンピュータに仕事を奪われ、勉強して得た知識は役に立たず…。そんな世界で生きるためにどうすればいいのか。

つながっているのに孤独: 人生を豊かにするはずのインターネットの正体 10



著者：シェリー・タークル

テクノロジーが人間関係に及ぼす「今そこにある危機」を、マサチューセッツ工科大学教授が語る。



もし20代のときに
この本に出会っていたら：
後悔しないための読書 **11**

著者：葛田小彌太
本はすべてのことを教えてくれる！
なににもでもない時代を生きる不安や
つらさから抜け出るための読書7則。



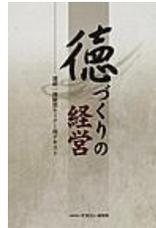
読書について **12**

著者：ショーペンハウアー 著
なにを、どう読むか。あるいは読まず
にすませるか。哲学者・ショーペンハ
ウアーが、紹介する知的読書法。



三方よしの人間学 **13**

著者：廣池千九郎
法学博士にして教育者、そして救済活
動家。新たな倫理観を打ち立てた偉人
の箴言集！



徳づくりの経営 **14**

著者：モラロジー研究所
現代の中小企業が道徳一体の経営を実
現するためにはどうすべきかを綴る。



大学生になったら洋書を読
もう：楽しみながら英語力
アップ！ **15**

著者：アルク企画開発部 編
村上春樹の英訳作品から、定番学習書
の原書まで、自由自在に洋書を読める
ようになるためのアドバイス・紹介。



世界のエリートが学んでい
る哲学・宗教の授業 **16**

著者：佐藤優
哲学と宗教は、人間が生きていく上で
不可欠な基本原理である。筑波大学の
講義「哲学的訓練」を紙上で再現。



僕がロボットをつくる理由：
未来の生き方を日常からデ
ザインする **17**

著者：石黒浩
ロボット研究の第一人者が、衣食住か
ら恋愛・仕事・創造の方法まで、「新
しい世界を拓く楽しさ」と人生を語る。



発想力を鍛える33の思考
実験 **18**

著者：北村良子
スワンブマン、中国語の部屋、哲学的
ゾンビ…。有名なものを中心に、発想
力を鍛える33の思考実験を掲載。



国家 **19**

著者：プラトン
ソクラテスは、正義の徳の実現には魂
の在り方だけではなく、国家そのもの
を原理的に問わねばならぬと考えるに
至る。



日本語と道徳：本心・正
直・誠実・智恵はいつ生ま
れたか **20**

著者：西田知己
かつて「正直者」は善人ではなかった？
「誠実」な人はいなかった？日本語の
変遷を通し日本的道徳観の本質を探る。

太った男を殺しますか?: 「トロリー問題」が教えてくれること 21



著者：デイヴィッド・エドモンズ

ある人を助けるために、別の人を殺すのは許されるか？ 哲学が道徳的ジレンマとどう向き合ってきたかを明らかに。

人を動かす 23



著者：デール・カーネギー

「人を動かす三原則」「人に好かれる六原則」など、身につけるべき人間関係の原則を具体的に明示する。

7つの習慣 25



著者：スティーブン・R・コヴィー

私たちの人生の大切な側面を取り上げ、変化の時代にあっても充実した、人間らしい生活を営む道を示す。

金持ち父さん貧乏父さん 27



著者：ロバート・キヨサキ

お金の力を正しく知って、思い通りの人生を手に入れよう。世界中で読まれ続けるベスト&ロングセラー。

20歳のときに知っておきたかったこと：スタンフォード大学集中講義 29



著者：ティナ・シーリグ

違う一歩を踏み出したとき、すばらしいことは起きる。この世界に自分の居場所をつくるために必要なこととは。

君たちはどう生きるか 22



著者：吉野源三郎

貧困、いじめ、勇気、学問…。今も昔も変わらないテーマに、人間としてどう向き合うべきか。

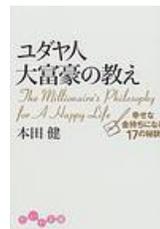
イノベーション・オブ・ライフ 24



著者：クレイトン・M・クリステンセン他

人生の根源的な問題を手軽に解決する方法など存在しない。ハーバード・ビジネススクールの最終講義。

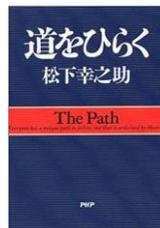
ユダヤ人大富豪の教え 26



著者：本田健

ひとりの老人との出会いが運命を変えた。アメリカの老富豪グレーと日本人青年の感動の物語。

道をひらく 28



著者：松下幸之助

運命を切りひらくために。日々を新鮮な心で迎えるために。人生への深い洞察をもとに綴った短編随筆集。

置かれた場所で咲きなさい 30



著者：渡辺和子

置かれたところこそが、今のあなたの居場所。自らが咲く努力を忘れてはなりません。



歴史の見方・考え方: 31 大学で学ぶ「考える歴史」

著者：神戸大学文学部史学講座
大学で歴史を学ぶとはどういうことか。そこでは、どのようなことに着目し、どのように考えるのか。



サピエンス全史: 32 文明の構造と人類の幸福

著者：ユヴァル・ノア・ハラリ
なぜホモ・サピエンスだけが繁栄したのか? 国家、貨幣、企業…虚構が文明をもたらした!



ホモ・デウス: テクノロジーとサピエンスの未来, 上 33

著者：ユヴァル・ノア・ハラリ
人類は不死と幸福、神性を目指し、神のヒト「ホモ・デウス」へと自らをアップグレードする。



ホモ・デウス: テクノロジーとサピエンスの未来, 下 34

著者：ユヴァル・ノア・ハラリ
生物・情報工学の発達によって、資本主義や民主主義は崩壊し…。人類の未来を、かつてないスケールで描く。



大世界史: 現代を生きぬく最強の教科書 35

著者：池上彰、佐藤優
各地でさまざまな紛争が勃発する現代は、まるで新たな世界大戦の前夜だ。



教養のグローバル・ヒストリー: 大人のための世界史入門 36

著者：北村厚
地域や文化をつなぐネットワークを俯瞰したグローバル・ヒストリーの通史。



それでも、日本人は「戦争」を選んだ 37

著者：加藤陽子
膨大な犠牲を重ねながら、戦争を戦った日本。参戦やおなしの判断を下したその論理を支えたものは何だったのか。



冷泉家八〇〇年の「守る力」 38

著者：冷泉貴実子
冷泉家は「和歌の家」として、伝統と文化を守り続けている。代々のエピソードをもとに、「守る力」を明かす。



福翁自伝 [新訂] 39

著者：福澤諭吉
福次諭吉が最晩年に口語体で纏めた自叙伝であり、生涯の閲歴を語った書籍。福次3部作の一つ。



運を掴む 40

著者：横内祐一郎
弱小の会社を世界一にした男の物語。人間中心の経営を目指したフジゲン社長の物語。



世界をまどわせた地図 伝説と誤解が生んだ冒険 の物語 41

著者：エドワード・ブルック=ヒッチン
グ
アトランティス、悪魔の島、朝鮮島…。
130点を超える美しい古地図・図版・
写真とともに、幻の世界を読み解く。



オイコノミア ぼくらの希望の経済学 43

著者：又吉直樹他
ピースの又吉直樹が経済学者たちに
「経済とはなにか?」を教えてもらう。
経済を知れば人生をより楽しめる!



1分間で経済学：経済に強い 自分になる200のキーワード 45

著者：ニール・キシテイニー
言葉を知れば経済はもっと見えてく
る! 知っておくべきキーワードを、見
開き1ページの図解で紹介する。



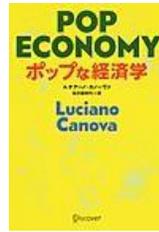
教養としての経済学： 生き抜く力を培うために 47

著者：一橋大学経済学部 編
経済学とはどんな学問なのか。経済問
題、理論、歴史、学習法を通して、経
済学を学ぶことの有用性を伝える。



99%のための経済学入門： マネーがわかれば社会が見 える、第2版 49

著者：山田博文
経済学は1%の富裕層と「勝ち組」の
ための学問ではない。99%の生活者の
ための経済学をわかりやすく解説する。



ポップな経済学 42

著者：ルチアーノ・カノーヴァ
ナッジ、ゲーミフィケーション、クラ
ウドファンディング…。行動経済学で
読み解く、AI時代のキーワード。



若い読者のための経済学史 44

著者：ナイアル・キシテイニー
初学者にとって偉大な案内役となる経
済学入門。経済思想家たちのエピソード
と事例で、「経済学」を説き明かす。



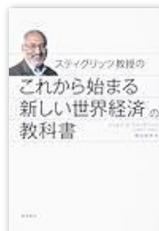
経済と経営を楽しむための ストーリー 46

著者：学習院大学経済学部・経済経
営研究所 編
どうして「悪い経済政策」を選びつづ
けてしまう? 「タダ」で儲けるビジネ
スとは? 為替相場を予測できる?



経済学をまる裸にする： 本当はこんなに面白い 48

著者：チャールズ・ウィーラン
英『エコノミスト』誌の元記者が、笑
えるエピソードを交えながら、経済学
の大事などところだけを解説する。



スティグリッツ教授のこれ から始まる「新しい世界経 済」の教科書 50

著者：ジョセフ・E. スティグリッツ
いままぜ資本主義の崩壊が起きている
のか? これまでの経済学はどこで間違
えたのか?

LEAN IN: 女性、仕事、リーダーへの意欲 51



著者：シェリル・サンドバーグ
女性のポテンシャルをすべて引き出し、自分の幸せとキャリア上の成功を手に入れるための方法とは。

一流の経営者は、何を考え、どう行動し、いかにして人を惹き付けるのか? 53



著者：川北英隆、奥野一成
日本を代表する経営者らが学生向けに経営哲学や経営戦略を語る、京都大学の経営学講義を書籍化。

「もしもあの時」の社会学: 歴史にifがあったなら 55



著者：赤上裕幸
ifの思考は、実現しなかった願望など、「ありえたかもしれない未来」の把握を可能にする。

伝え方が9割 57



著者：佐々木圭一
感動的なコトバはつくりことができる。ひとの心を揺さぶる伝え方の技術を紹介。

大学生のための「社会常識」講座: 社会人基礎力を身に付ける方法 59



著者：松野弘
大学生が自ら学ぶ常識を身に付け、有意義な学生生活を送るための知識やノウハウを紹介。

図説 世界を変えた50のビジネス 52



著者：ジョン・リブチンスキ
ビジネス界の瞳目すべき50の躍進をコンパクトにまとめ、ていねいに分析・評価。

世界で働く人になる! 人づきあいと英語のスキルを劇的に上げる41の方法 54



著者：田島麻衣子
7カ国に住み、60カ国以上の人たちと共に働いてきた著者が、人づきあいのコツ、英語の学び方を伝える。

アメリカ的、イギリス的 56



著者：テリー・イーグルトン
アメリカ人はどうしてあんなのか? イギリス屈指の毒舌批評家が放つ、抱腹の比較文化論。

アカデミック・スキルズ: 大学生のための知的技法入門 58



著者：佐藤望、湯川武、横山千晶、近藤明彦
アカデミック・スキルズとは、大学生のための学びの技法。具体的かつわかりやすく伝授する。

大学生の品格: プリンストン流の教養24の指針 60



著者：岡部光明
大学生が身につけるべき3つの技量「日本語力」「インテグリティ(誠実さ)」「向上心」について、綴る。



61 大学時代を後悔しないための52のリスト: 1、2年はあつという間!就職活動で困らないために!

著者: 田口久人

大学で、何を頑張ったかで内定が決まる! 学生生活や就職活動を後悔しないための52のリストを紹介する。



63 レシピで味わう世界の食文化: みんなく研究室でクッキング

著者: 石毛直道

食文化研究のために訪れた世界の国々の料理を国立民族学博物館の研究室で再現した著者が、秘伝のレシピを紹介。



65 戦略論の名著: 孫子、マキアヴェリから現代まで

著者: 野中郁次郎

古今東西の戦略思想家たちの叡智が結集された戦略論の中から、現代人必読の12冊を厳選し、詳細に解説する。



67 先生、物理っておもしろいですか?

著者: パリティ編集委員会 編

物理学に関係する人々が、「物理」や「科学」や「世界」に対して日頃考えていることをときに熱く、ときに冷静に語る。



69 地球環境がわかる: 自然の一員としてどう生きていくかエコを考える現代人必携の入門書、改訂新版

著者: 西岡秀三、村野健太郎、宮崎忠國

環境問題が起きる仕組み、自然変化と汚染の現状、大きくてつかみ所のない環境問題の全体像を見渡す。



62 大学とは何か

著者: 吉見俊哉

大学の理念の再定義を試みる画期的論考。高等教育機関論を簡易に、しかし深遠さも覗わせる名著。



64 月の裏側: 日本文化への視角

著者: クロード・レヴィ・ストロース

世界における日本文化の位置、月の隠れた面、因幡の白兔…。人類学者の眼差しが捉えた日本と日本人、日本文化。



66 「偶然」の統計学

著者: デイヴィッド・J. ハンド

ロトで連続大当たり、2回連続で雷に打たれる…。「ありえない」出来事は、じつはけっこう頻繁に起こっている。



68 2050年の技術: 英『エコノミスト』誌は予測する

著者: 英『エコノミスト』編集部

人工知能(AI)、バイオ、農業、仮想現実(VR)など20の分野を取り上げ、それが経済・人間の幸福に与える変化を予測。



70 若者離れ: 電通が考える未来のためのコミュニケーション術

著者: 吉田将英 [ほか]

「若者の〇〇離れ」が叫ばれるが、実はそれは“社会の若者離れ”だった。なぜそんなことが起きるのか。

もういちど訪ねる日本の美：上 71



著者：小林忠、五味文彦、浅井和春、佐野みどり 監修
「これだけは訪ねたい」という日本の仏像・屏風・建築などを選びすぎり、見開き1テーマで、解説する。

もういちど訪ねる日本の美：下 72



著者：小林忠、五味文彦、浅井和春、佐野みどり 監修
「これだけは訪ねたい」という日本の仏像・屏風・建築などを選びすぎり、見開き1テーマで、解説する。

国宝の解剖図鑑：国宝を知れば日本の美術と歴史がわかる 73



著者：佐藤晃子
国宝をタテ・ヨコ・斜めから大解剖！様々なジャンルの国宝を取り上げ、見所は何かを、図を用いて簡潔に解説。

日本画とは何だったのか：近代日本画史論 74



著者：古田亮
近代日本画の成り立ちと多様性を時代ごとの様式の変遷から描く百年史。

スター・ウォーズによると世界は 75



著者：キャス・R. サンズティーン
ハーバード大学ロースクールの名物教授が、様々な事にいかに「スター・ウォーズ」が役立つかを真面目に説く。

なぜ外国語を身につけるのは難しいのか：「バイリンガルを科学する」言語心理学 76



著者：森島泰則
外国語を使っているとき、頭の中では、一体何が起きているのか？

日米ボディートーク：身ぶり・表情・しぐさの辞典、増補新装版 77



著者：東山安子、ローラ・フォード
出合いのあいさつは「握手」？「お辞儀」？日本人とアメリカ人の身ぶり約150を、イラスト付きで解説。

悪態の科学：あなたはなぜ口にしてしまうのか 78



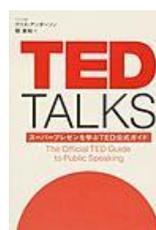
著者：エマ・バーン
クソ、ちくしょう、ふざけんな！科学者たちが注目する驚きの効用から脳の仕組みまで実験・研究から解き明かす。

物語を忘れた外国語 79



著者：黒田龍之助
外国語学習で大切なのは、TOEICでも問題集でもありません。小説や映画など、物語から学ぶこと。

TED TALKS：スーパープレゼンを学ぶTED公式ガイド 80



著者：クリス・アンダーソン
世界中が注目するカンファレンス「TED」の公式ガイド。基本から本番、考察まで、21のノウハウを解説する。

今どきの日本語：変わることば・変わらないことば 81



著者：遠藤織枝 編

「すごいきれい」はほんとうに「すごい」のか。「この本、おもしろいってうか」という心理とは。

知っているようで知らない日本語のルール 82



著者：佐々木瑞枝

「あれ」と「それ」はどう使い分けている？「おはよう」と「こんにちは」「こんばんは」にはどんな違いがある？

レトリック感覚：ことばは新しい視点をひらく 83



著者：佐藤信夫

言語感覚を活性化させると同時に、ことばを楽しく使いながら、新しい認識の世界に踏みこませてくれる好著。

レポートの組み立て方 84



著者：木下是雄

レポートの役割は、読み手にわかりやすく伝えることである。具体例をもとに、そのノウハウをわかりやすく説く。

最新版 大学生のためのレポート・論文術 85



著者：小笠原喜康

レポート、論文作成には欠かせない、ネット検索の上手な活用法とは？

中国人は言葉で遊ぶ 86



著者：相原茂

中国語学の第一人者が、中国のジョークや言葉遊び、愉快な中国語表現を解説。

日本の英語、英文学 87



著者：外山滋比古

教養英語 vs. 実用英語、AI時代に英語を学ぶ意味…。「日本の英語」は、どこでボタンをかけたのか。

ことわざから探る英米人の知恵と考え方 88



著者：安藤邦男

聖書の時代から蓄積してきた経験の知恵であり、日本のことわざとは違った魅力に満ちている英語のことわざ。

大変を生きる：日本の災害と文学 89



著者：小山鉄郎

日本人は各時代時代の天災とどのように向き合い、どのように受け止め、どのように生きてきたか。

金閣寺 90



著者：三島由紀夫

金閣寺焼失事件を題材とし、放火犯である若い学僧の破滅に至る過程を描く問題作。

夢をかなえるゾウ

91



著者：水野敬也

ダメサラリーマンの前に現れたゾウの姿をした神様“ガネーシャ”。愛と笑いのファンタジー小説。

1Q84

92



著者：村上春樹

「リトル・ピープル」が棲む1Q84年の世界。深い謎をはらみながら主人公・青豆と天吾のストーリーが始まる。

博士の愛した数式

93



著者：小川洋子

80分しか記憶が続かない数学者と、家政婦とその息子がしだいに心を通わせ。切なく温かい奇跡の物語。

銀河鉄道の夜

94

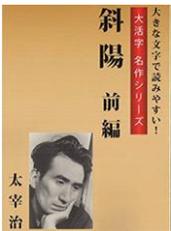


著者：宮澤賢治

ジョバンニとカムパネルラと一緒に、満天の星々を旅しよう。悲しくも美しい宮沢賢治の代表傑作

斜陽

95

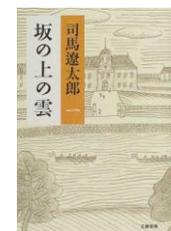


著者：太宰治

没落していく弱きものの美しさが見事な筆致で描かれている。人間失格と並ぶ太宰文学の最高峰。

坂の上の雲 新装版

96



著者：司馬遼太郎

近代国家の仲間入りをしたばかりの「明治日本」と、その時代を生きた「楽天家達」の生涯を描いた歴史小説。

世説新語

97



著者：目加田誠

魏・晋時代の名士たちの言行・逸話を集めたもの。中国の思想史・風俗史を知る資料としても価値の高い書。

忘れられた巨人

98



著者：カズオ・イシグロ

老夫婦と若者二人の物語。失われた記憶や愛、戦いと復讐のこだまを静謐に描くブッカー賞作家の傑作。

アルジャーノンに花束を

99



著者：ダニエル・キイス

天才に変貌した青年が愛や憎しみ、喜びや孤独を通して知る人の心の真実とは?全世界が涙した不朽の名作。

夜と霧：ドイツ強制収容所の体験記録

100



著者：ヴィクトール・E. フランクル

心理学者、強制収容所を体験する。容赦なく突きつけられる“運命”との向き合い方を探る。



麗澤大学図書館